

Town News

広 報

たてやま

TATEYAMA

つくり手が
もてなす一盃 いちわん

1 JANUARY (睦月)
2015 平成27年
No. 733

CONTENTS

舟橋町長に聞く新春インタビュー・・・2
特集「町を突き動かす12のアイデア」
インターカレッジコンペティション・・・3～5
たてやまブランド
「立山の農家の手づくりみそ」・・・16

12月13日と14日に陶農館で
「かなくれ茶会」が行われました。
越中瀬戸焼の窯元が自らの作品で
客人をもてなし、それぞれの土・窯・
釉薬の話など、焼き物に込める思い
を語りました（関連8ページ）。



【特集】

町を突き動かす 12 のアイデア

立山町インターカレッジコンペティション 2014



大学生が訴えかける町の課題

11月30日、12月1日の2日間にかけて、
全国の大学生が町の地域活性化策を
発表し、その提案を競う

「インターカレッジコンペティション」が行われました。

県内外の若者が
フィールドワークを経て感じ取った
町の課題。
そして、試行錯誤の末にたどり着いた
その解決方法とは。

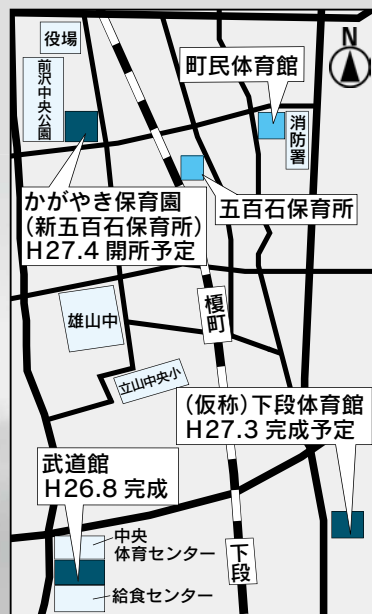
2014年を振り返って

Q. 新年早々、選挙でしたね。

A. 町制施行が昭和29年1月10日（60周年）ですから、町長も町議会も4年に一度、この寒い時期の選挙になってしまします。私は無競争でしたが、議会では前年の補欠選挙当選組も含めると6人も新人議員となられ、議員の意気込みに負けないで頑張ろうというエネルギーをもらっています。

Q. 大型ハード事業では、下段地区にある中央体育センターに隣接して、武道館が完成しましたね。

A. はい。同じ下段地区にあった旧勤労青少年ホームに武道館がありました。が、老朽化し、耐震性もなかったため、学校の耐震化が完了すればと改築のための財源を探しておりました。ちょうど、学校給食センターを災害時に炊き出しができるようにしておいたので、これに隣接させ、避難所になると担当者に提案したところ、国庫補助に採択



されました。

2014年からの継続事業

Q. 他に耐震化が必要な町内公共施設はありますか？

A. 旧勤労青少年ホームの旧武道館に隣接していた友情館（ミニ体育館）が残っていましたが、現在、（仮称）下段体育館として現地で改築中であり、春には完成の見込みです。

Q. これは下段地区の方のみ利用する施設になるのですか？

A. いえ、学校開放の屋内運動場と同様、全町民に開放します。現在、雄山中の生徒さんは、耐震性の乏しい町民体育館（旧勤労者体育館、消防署の西隣）を部活動に利用されていますが、春からは、（仮称）下段体育館に移ってもらうつもりです。

Q. 現在、役場庁舎の南にある前沢中央公園に隣接して、（仮称）新五百石保育所が建設中ですね。

A. はい。先日、選定委員会において、名称を「かがやき保育園」に決定しました。完成すれば民間に委託する予定です。民間が運営することにより、休日保育や体調不良児対応型保育などサービスの多様化が期待できます。2025年から超高齢化社会を迎えますが、これに

伴い、介護や医療を支えるために町税などの一般財源からの支出が増えてきます。そのために役場のスリム化を図らなければなりません。

2015年の新規事業

Q. 新年度の予算案は、まだ、策定中だと思いますが、特に力を入れたいと思っていることは何ですか？

A. やはり、人口減対策になります。具体策（立山町人口減対策アクションプラン2014）を昨年9月の「広報たてやま」で紹介しましたが、町ホームページにも詳しく掲載してあります。ところで、このホームページに町への移住を希望される方を対象としたサイト（ページ）を開設する準備をしています。幸い、当町には求人希望される企業の立地が進んでいます。子育て支援のほか、暮らしに必要な情報を



盛り込む予定です。
Q. 全国的にも空き家の増加が問題となっているようですが。
A. 例えば、県外から移住される方が、町内の大工さんや水道業者さんを利用すれば、中古物件のリフォーム費用を一部助成するといった、地域経済対策にもつながる方法を検討しています。
Q. 最後に一言お願いします。
A. 平成27年度予算案は、政府が進める「地方創生」元年となるよう、国・県と連携して、将来に希望が持てるものに仕上げたいと思っています。

舟橋町長に聞く 新春インタビュー

【審査員特別賞】
千葉工業大学 八馬研究室



世界に誇るべき土木技術を観光資源に
「立山の歴史は砂防の歴史」と言われるように、町内に点在する砂防施設・基盤施設（インフラストラクチャー）は立山町にしかないオンリーワンのものである。これを観光資源として捉え、体験・交流型の「立山インフラツーリズム」という新しい旅行形態を構築する。

【優秀賞】
跡見学園女子大学 村上ゼミ



住民と行政をつなげ、町の力を結集
観光施策やブランド展開などに行政と住民が密接に連携をとることで、観光客が滞留する体制を構築する。また、竹や桜、雪など今ある町の資源を活用。一年を通じて四季折々のイベントを開催し、観光のオフシーズンもなくす。『町人ー観光客ー食ー場所ーもの』をつなげる。

【優秀賞】
昭和女子大学 渡辺ゼミ



仲語「四代目平蔵」を観光資源に
立山信仰を今に伝える「仲語」と呼ばれる山岳ガイド「四代目平蔵」佐伯知彦氏を核に各種旅行ツアーを企画。立山登拝のほか、「曼荼羅アート体験」や「あしくらマルシェ（ミニ道の駅）」を開催し、立山信仰と芦峯寺地区を中心とした、他にはない魅力を創出する。

【優秀賞】
桜美林大学 渡辺ゼミ



台湾人向け町内サイクリングツアー
近年、アルペンルートを訪れる台湾人訪日観光客は増加し続けている。台湾の若者に人気のサイクリングツアーを町平野部の観光産業とすることで、これまで素通りされてきた町の魅力を伝えることができる。観光客と地元住民の交流が町の活力向上にもつながる。



獨協大学 外国語学部・経済学部

遠藤ゼミ・米山ゼミ合同チーム

次世代の若者が作る立山 MOVEMENT ～町民がまちづくりに本気参戦～

【町の現状と課題についての分析】

東西に長い地理から平野部と観光地の間には心理的距離があり、「年間 100 万人を集める町」でありながら、町民にその誇りが醸成されていない。

そこで、町民、特に若者と観光客が継続的につながる仕組みをつくることで、町が持つ観光資源とその強み、ポテンシャルの高さへの「気づき」の場を提供する。そして、郷土愛を持ち、それを発信し、主体的に地域活性化を志す人材を育てることで、町の活力向上を促したい。

【具体的な方策】

町の小中高生が外部との交流会やイベントの手伝いをする「立山学生サポーター」、若年層のボランティアガイドへ

の登用を進める「若者ナチュラリスト」、町の未来について熱く議論する「立山みらい塾」など、町民が町の問題や事業を「じぶんごと」と捉え、主体的に町のビジョンを描き、実行していく仕組みづくりを行う。

また、現在、自動翻訳で対応している観光ウェブサイトなど、海外向けメディアの多言語化事業に外国語を学ぶ大学生を活用するなど、町と外部人材との連携も活発化させる。

これらの「若者を中心とする住民参加」を推進させることで、今後の担い手世代が常に活躍し、発展し続けていく「5 年、10 年、100 年と輝き続ける町」の実現を提案したい。



獨協大学の提案書は町ホームページに全文を掲載しています。

inter college competition 学生の熱意を町の方へ

町では、平成 24 年から施策に外部人材の斬新な発想を取り入れようと、大学生による地域活性化策のプレゼンテーション大会を開催しています。町は大学に集積する知識やノウハウを施策に取り込むことができ、大学（学生）は研究している観光マーケティングや経済理論の実践の場を得ることが出来ます。これは「域学連携」と呼ばれ、現在全国の自治体で地域資源の掘り起こしや地方再生の切り札として、大きな期待が寄せられている手法です。



近畿大学 経営学部 高橋ゼミ

料理を作り、 料理で創る立山ブランド

【町の現状と課題についての分析】

立山黒部アルペンルートという大観光地を抱えながらも、町の特産物をアピールできる機会がないため、「立山ブランド」の認知度は低く、「立山」という知名度に見合う経済的価値を得ることができていない。また、町民が「町には誇れるものがない」と考えているという現状にある。

そこで、町の特産物を使った新たな名物を町民自らが創りだすことで、観光客・町民双方から愛される「立山ブランド」を展開する。

【具体的な方策】

立山町には、「この土地ならではの独自性とストーリー性を持った特産

物が多く存在する。例えば、「立山ポーク」だ。「立山ポーク」は米を混ぜた飼料で育てることで、柔らかい肉質と甘い脂身を生み出す。

こうした高い潜在能力を持つ食材を使った料理を町民が考案し、披露する料理大会を開催する。優勝したレシピをプロの料理人の手によって商品化し、アルペンルートの飲食店で観光客に提供する。

この、①町民が地元産食材の素晴らしさに気づき、②自信を持って外部へアピールし、③「立山ブランド」としての全国的な地位を確立する、という一連の流れと好循環を生み出すことで、町全体を活性化させる。



他にもこんな意見がありました（抜粋）

提案事業

◆富山地方鉄道の活用

⇒ 1 日フリーきっぷ、スタンプラリー、優待券付の食べ歩きマップ、車内結婚式（ウェディングトレイン）

◆立山ブランド戦略

⇒ 米のブランド化、ブランド商品と組み合わせた観光ツアー、紹介動画のネット配信

◆地域資源の掘り起こし

⇒ 豊富な水資源、コンペに訪れる大学生と住民の積極的な交流、立山登山でお見合いイベント

町の課題

- ◆ 農家と行政、商工業者のつながりが弱い
- ◆ 観光地で生まれた利益が平野部に落ちない
- ◆ 市街地や観光地の衰退による地鉄利用者の減
- ◆ 北陸新幹線開通による観光客の他県への流出
- ◆ 若者の地域への愛着が希薄
- ◆ 町なかで若者を見ない、若者の活気がない
- ◆ 立山ブランドの認知不足
- ◆ 町民の観光に対する意識の低さ
- ◆ 少子高齢化による生産年齢人口の減少
- ◆ 首都圏若年者からの関心の低さ

第49回健やか親子21全国大会

古川智子さんに厚生労働大臣表彰

11月26日、第49回健やか親子21全国大会が愛媛県松山市で開催され、古川智子さん（五百石）が厚生労働大臣表彰を受賞されました。



古川さんは昭和59年より町母子保健推進員の委嘱を受け、地域と行政をつなぐパイプ役として、妊婦や乳幼児を持つ家庭の訪問・

相談などの活動を精力的に行ってきた。また、平成11年からは町母子保健推進員連絡協議会会長として、会員相互の親睦を図るとともに、県の同協議会においても要職を歴任し、県全体の母子保健の向上に尽力されました。

古川さんは「受賞を励みに、これからもお母さんや子どもたちが元気よく心豊かに過ごせるよう努めたいと思います」と話されました。

第27回いきいきとやま健康と長寿の祭典

山室千恵子さんが健康増進部門で受賞



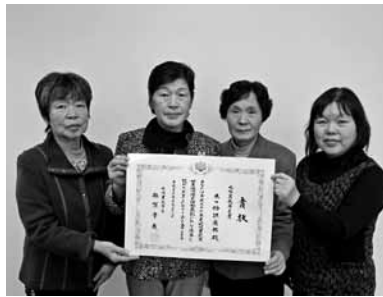
山室千恵子さん（浦田）が健康増進部門で大会長表彰を受賞されました。

山室さんは「皆が健康であってほしいというのが一番の願いです。これからも楽しく活動が続けたいです」と話されました。

山室さんは「皆が健康であってほしいというのが一番の願いです。これからも楽しく活動が続けたいです」と話されました。

平成26年度地産地消優良活動表彰

米っ粉倶楽部が北陸農政局長賞を受賞



表彰状を手にする米っ粉倶楽部のメンバー

米の地産地消を進めている「米っ粉倶楽部」が平成26年度地産地消優良活動表彰で北陸農政局長賞を受賞しました。

これは、創意工夫のある様々な地産地消の取組・活動に関する成果や持続性等についての分析、評価を行い、

優れた取組・活動に対し表彰を行うものです。米っ粉倶楽部は「消費量の減少が懸念されている米のおいしさを子どもたちに知ってもらいたい」という思いから米粉の加工組織として設立。平成22年から米粉パンなどの加工に取り組み、町内小中学校の学校給食に提供しています。

代表の森純子さんは「活動を通じて、米粉をもっと多くの人に知ってもらいたいです」と話されました。



視力を制限する特殊なゴーグルをかけ、白内障の症状を疑似体験する参加者

11月22日、町民会館で介護予防と地域づくりのイベント『自立de地域deいきいき祭』が開催されました。

講演会では、ノンフィクションライターの綾野まさるさんが、長年取材してきた長寿

の双子姉妹「きんさん・ぎんさん」や「ぎんさんの娘四姉妹」の長寿の秘けつや名言などをユーモア豊かに紹介し、会場は大きな笑い声に包まれました。

また、会場には、高齢者が陥りやすい白内障の症状や手足の動かしにくさを疑似体験できるコーナーや指先の力やバランス感覚などを測定するブースが設けられ、多くの来場者が楽しみながら介護予防への理解を深めました。

「立山」のにぎわいと雇用の創出プロジェクト

1月開催セミナー

- ◎参加費は全て無料です ◎お申し込みはホームページまたは電話から！
◎雇用保険の就職活動の一つに認定されます ◎セミナーの詳細はHPまで

セミナー名	講師	日時	場所	備考
第4回農家民泊講習会 ～農家民泊体験 教育的効果と受け入れ重要ポイント～	(株)トップツアー 山田 徹氏	1月14日(水) 13時～16時半	町元気交流 ステーション 2階小会議室	初めて受け入れを考えておられる方、ご興味のある方を対象とした内容です。

※1月～2月にかけての以下のセミナーについては、決定次第、ホームページやチラシなどでお知らせします。

▶『観光情報発信人材の育成』▶『ガイド・インストラクター養成講座』

12月開催セミナーのご報告



12月11日開催
『成果物公開セミナー』

←立山町の農業や商業、行政の連携を今後はどうしていくか？売り手と買い手の立場に立って商品を作れているか？様々な課題を持ちつつ、ブランド推進事業の活動や成果物のPRの話をしました。



12月8日開催
『農業の高付加価値化研修』

←(株)KOフードテック大塚耕太郎先生の「農業者と食品産業者のマッチングと食の安全管理」に関するセミナーです。農商工連携における様々な先行事例や食の安全管理など、高付加価値化について学びました。

※当協議会の事業は費用の全額を厚生労働省が負担する「実践型地域雇用創造事業」で実施しています。

サポート たてやま

立山町雇用創造協議会
☎483-4830 FAX483-4831
https://www.tateyama-koyou.jp/

消防署通信

■県下救急隊員研修会を開催

平成26年度第2回富山県下救急隊員研修会が11月26日、町民会館で開催され、県下の救急隊員84人が参加しました。富山大学附属病院災害・救命センターの若杉雅浩さんが事故・災害現場の指揮統制をテーマに講演をしたほか、大規模災害を想定した対応計画を作成し、事故や災害時の対応や危機管理体制の標準化などに対する理解を深めました。

■日本損保協会より軽消防車が寄贈

日本損害保険協会から最新の小型動力ポンプ付き軽自動車（寄贈され、12月5日には町元気交流ステーションで受納式が行われました。



軽消防車受納式の様子

シンで受納式が行われました。軽消防自動車は4人乗りで、狭い道路や悪路でも走行が可能。持ち運びができる小型動力ポンプを備え、機動力を生かした迅速な消火活動が可能です。寄贈された車両は町消防団東谷分団に配備されます。



表彰状を手にする永原校長

釜ヶ淵小学校が県教育委員会表彰（健康教育実践優良校）と「平成26年度とやまストップ温暖化アクト賞」を受賞しました。

が評価されました。

また、とやまストップ温暖化アクト賞では、「釜ヶ淵小学校」を中心とした環境改善活動や全校児童を対象としたエコクイズによる啓発などを行い、環境問題を身近な問題として捉える意識の浸透が評価されました。

永原義久校長は「連綿と続く児童たちの活動が評価され、うれしく思います。児童全員に称賛の拍手を送りたいです」と話されました。

健康教育実践優良校表彰、とやまストップ温暖化アクト賞

釜ヶ淵小学校が健康教育と環境貢献で受賞



伝統を受け継ぐ児童の情操育む

日中上野小学校と立山小学校で創立記念イベント

日中上野小学校と立山小学校の2校がそれぞれ創校130周年と40周年を迎え、11月21日には両校で節目の年を祝う記念イベントが行われました。

日中上野小学校では、県内の音楽家5人を招いての記念コンサートを開催しました。金管五重奏がそれぞれの音色の違いや特徴を説明しながら、「となりのトトロ」メドレーなどを披露し、児童を楽しませました。

立山小学校では、『ドラえもん学』で有名な富山大学名誉教授の横山泰行さんによる講演会が行われました。横山さんは、漫画『ドラえもん』の登場人物の心模様やその成長について講演し、「のび太は君たちと同じくらいの小学4年生です。彼のように優しい心を持ち、出会いを大事にしてください」と児童らに語りかけました。



1 日中上野小学校での記念コンサートの様子
2 立山小学校で行われた横山教授の講演会。秘密道具の仕組みなどについても語られ、児童たちは興味津々

多彩な発表で来場者を楽しませる

第33回町勤労青少年ホーム祭

町勤労青少年ホーム（福田）を利用している団体が日ごろの成果を発表する「第33回町勤労青少年ホーム祭」が11月23日に開催され、多くの来場者がパフォーマンスや展示された作品などを楽しみました。

オープニングには、2014年NHKのど自慢「グランド・チャンピオン大会」に優勝された櫻井麻那さん（魚津市）が出演したほか、よさこいや民謡、社交ダンスなどの披露をはじめ、押し花作品などの展示やそば打ちの実演も行われました。また、ステンドグラスやクリスマス飾りを作る体験コーナーや米粉パンなど農産加工品の販売も行われ、多彩な催しに大勢の来場者でにぎわいました。



1 流れるような鮮やかなステップを披露



2 フラワーアレンジメントの体験では、クリスマスカラーの飾りを作っていました

東谷地区自慢の特産品がズラリ！

東谷農産物フェア

11月30日、町元気交流ステーション1階のイベント広場で東谷地区の農産物や加工品を集めた「東谷農産物フェア」が開催され、多くの買い物客でにぎわいました。

会場には、旬を迎えた地区特産の洋なし「ラ・フランス」や新米、とれたての野菜などが所狭しと並びました。また、ラズベリーや洋なしのジェラート、北陸新幹線開業記念として横浜中華街の料理店が開発した「柚子月餅」などの新商品もお目見えし、人気を集めていました。

これまで四谷尾の立山自然ふれあい館で開催されていた同イベント。主催した同館の大江館長は「町なかで開催したことで、東谷地区のおいしい農産物を多くの人に知ってもらえるいい機会になった」と話しました。



1 所狭しと農産物が並ぶ会場。レジには長蛇の列ができていました
2 大きなカボチャを前に「ハイ、ポーズ」

レクリエーションで広がる人の輪

町民レクリエーション大会

12月7日、町民レクリエーション大会が町元気交流ステーションで開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。これは、創造的な活動を通じて、地域や親子のコミュニケーションを活発にすることなどを目的に町レクリエーション協会が毎年行っているものです。

会場では、バルーンアートやAMラジオを電子部品から組み立てるコーナーなど多彩な催しが用意され、来場者は世代を超えてレクリエーションを楽しみました。また、調理交流室ではクリスマスケーキ作り体験が行われ、子どもたちが家の形をしたケーキに星型のチョコレートを飾ったり雪に見立てた粉砂糖をかけ、思い思いのデコレーションをしていました。



1 バルーンアートを楽しむ子どもたち。楽しそうな声が会場に響いていました
2 自分で飾り付けをしたケーキは「食べるのがもったいない！」

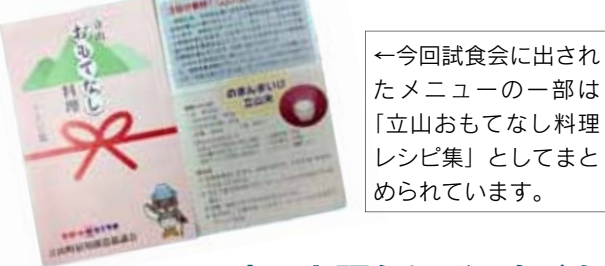
町産食材の消費拡大を様々な観点で模索

米粉と米を使った新メニュー試食会

町産の米粉や野菜、豚肉などを使った新メニューの試食会が12月11日、町元気交流ステーションで開催されました。

町では、平成26年1月に立山町食のモデル推進協議会を設立し、様々なイベントや料理コンテストで町産食材を使った新メニューの開発に取り組んでいます。この試食会では、米粉パウンドケーキや立山三六そばなど、これまで住民や学生らが考案したメニューや立山ブランド認定品を使った料理など14種類が一堂に会し、飲食店経営者や農家、富山高専や雄山高校の生徒ら約40人が味わいました。

また、飲食店経営者と農家による意見交換会も行われ、新メニューの商品化や町産食材の流通経路、米や米粉の普及促進策について話し合いました。



←今回試食会に出されたメニューの一部は「立山おもてなし料理レシピ集」としてまとめられています。

窯元と語らうぜいたくな時間

第3回かなくれ茶会

越中瀬戸焼の4つの窯元、5人の陶芸家で作る「かなくれ会」の茶会が12月13日と14日に陶農館で開催され、約180人が焼き物の魅力を窯元とともに語りました。

この茶会は、茶席のもてなしを通して越中瀬戸焼の魅力に触れてもらおうと毎年開催されているもので、今回が3回目。窯元が席主を務め、新瀬戸地区で採れる土の風合いや窯元ごとの技術などのこだわりを紹介しています。

来場者はまず香煎席で石川県の老舗菓子店「行松旭松堂」の茶菓子製作の実演を見学したあと、茶室で窯元らがたてる抹茶と作りたての茶菓子を味わい、使われた茶器の特徴などについて説明を受け、窯元との交流を楽しみました。

「かなくれ会」の作品は陶農館のほか、1月14日(水)~20日(火)まで富山大和5階で開催される陶芸展でも楽しむことができます。



1 それぞれの技法や土、釉薬の特徴について窯元自らが紹介するぜいたくな時間が流れていました
2 間近で見る茶菓子づくりに茶席への期待が高まります

図書館おすすめ ザ 一冊

■「繁栄の昭和」 【筒井康隆著】

『時をかける少女』や『私のグラ
ンパ』など数多く作品を手がけて
きた筒井康隆氏の、8年ぶりの短編
集です。表題作をはじめ、筒井氏
が敬愛する江戸川乱歩作品のある
登場人物に焦点を当てた『大盗庶
幾』や海野十三のオマージュ作品
である『科学探偵帆船村』。また、老
齡の劇団座長が舞台上で踊り歌う
『リア王』、病気の妻の代わりに来た家政婦との交流を描いた『つばくろ会からまいりました』など、毛色の異なる10本の短編が収録されています。それに本書の表紙を飾るエノケン映画時代の女優・高橋子についてのエッセイが加わった、珠玉の一冊です。

■新着図書

◆電子図書館・電子書籍貸出サービス [植村八潮ほか著] ◆生と死をめぐる断想 [岸本葉子著] ◆哲学散歩 [木田元著] ◆宗教・いのち・国家 [島園進著] ◆日本・喪失と再起の物語 [D. ピリング著] ◆台湾へ行く [主婦の友社編] ◆これからの日本の論点 日経大予測 2015 [日本経済新聞社編] ◆未知のリスクにさらされる世界の経済 [真壁昭夫ほか著] ◆昭和、平成震撼「経済事件」闇の支配者 [大下英治著] ◆絵でわかる遺伝子治療 [野島博著] ◆エピソードで味わうワインの世界 [山本博著] ◆美人は「食べて」綺麗になる [木下あおい著] ◆世界文化遺産 富岡製糸場 [東京書籍編集部編] ◆昭和30年代の鉄道風景 [小川峯生著] ◆オペラ座のお仕事 [三澤洋史著] ◆ソフトテニス部おとな×ブカツ [ナロさん & おまみ監] ◆セロニアス・モンクのいた風景 [村上春樹編・訳] ◆水声 [川上弘美著] ◆もりのふくろう [おおなり修司著] ◆こむぎのともだち [吉田道子著]

■開館時間

▶日～土曜日 9時半～19時 ※12/29～1/3 は休館
圖立山図書館☎ 463-0634

介護保険アレコレ

介護保険サービスを利用するには？

1. 申請
町地域包括支援センターに申請手続きをします。
2. 訪問調査を実施
親族等の立会のもと、認定調査員が訪問調査します。
3. 介護認定審査会による審査判定
訪問調査の結果や主治医の意見書などをもとに、介護認定審査会で審査判定します。
4. 認定結果を通知

原則、申請日から30日以内に認定結果通知と保険証を本人に送付します。認定された方は『要支援1、2』、『要介護1～5』の区分に分けられます。

5. 介護サービス計画を作成

居宅サービス、施設サービス等を受けるためのケアプランの作成をケアマネジャーに依頼します。

6. 介護サービスまたは介護予防サービスを利用

各介護サービスの利用者負担は1割です。

■1月の介護保険料（65歳以上の方）

- ▶特別徴収 ありません（2月の公的年金支払時に天引）
▶普通徴収第7期（2月2日(月)納期限）
※口座振替の方は、残高の確認をお願いします。
圖中新川広域行政事務組合介護保険課☎ 464-1316



●年金相談の日程

期日 1月13日(火)、2月10日(火)
相談時間 10時～12時
13時～15時

※受付は14時半までです。

場所 町民会館

※年金手帳、年金証書、印鑑、預金通帳などを持参してください。
※ご家族など代理の方の場合は、別に「委任状」が必要です。

■国民年金保険料の納付は、口座振替がお得です

国民年金保険料の納付に、口座振替がご利用になれます。口座振替は、毎月納めに行く時間と手間が掛からず、納め忘れがなく便利で安心です。

年金だより

当月分保険料を当月末に引き落とすことにより月々50円割引される当月末振替（早割）や現金納付よりも割引額が多い6カ月前納・1年前納・2年前納もあり大変お得です。
口座振替をご希望の方は、年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参し、年金事務所またはご希望の金融機関、役場住民課で手続きをしてください。
※口座振替による6カ月前納・1年前納・2年前納を希望される方は、2月末までにお申し込みください。
※すでに口座振替で前納し、引き続き同様の前納を希望される方は、再度の申込は必要ありません。
圖魚津年金事務所
☎ 0765・24・1494

■源泉徴収票は大切に
平成26年中に老齢または退職を支給事由とする年金を受給した方へ「平成26年分公的年金等の源泉徴収票」が日本年金機構から1月末までに送付されます。
この源泉徴収票は平成26年中に支払われた年金額、年金から差し引かれた所得税額、介護保険料額などをお知らせするもので、確定申告を行う際に必要になりますので大切に保管してください。
※死亡された方には源泉徴収票は送付されません。死亡された方の確定申告に源泉徴収票が必要となる場合は、お近くの年金事務所または「ねんきんダイヤル」まで問い合わせください。

訂正とお詫び
広報たてやま12月号6ページ掲載の「立山北部小学校創校50周年記念式典」の記事について、誤りがありましたので次のとおり訂正してお詫びいたします。
(誤) 佐々木達也さん
(正) 佐々木達哉さん
圖役場企画政策課企画広報係
☎ 462・9968

新五百石保育所の名称が『かがやき保育園』に決定
平成27年4月開所予定の（仮称）新五百石保育所の名称について、95点の一般公募をもとに選定委員会が協議した結果、最優秀賞と優秀賞は次のとおり決定しました。
▼最優秀賞／『かがやき保育園』
▼優秀賞／『ひだまり保育園』
『なないろ保育園』
『たてやま保育園』
選定委員会の報告を受け、町は（仮称）新五百石保育所の名称について、『かがやき保育園』に決定しました。
圖健康福祉課児童福祉係
☎ 462・9955

Event Information

■消防出初め式

日時 1月4日(日) 9時～
場所 町民会館大ホールおよび町民会館前駐車場
※会場設営のため、3日(土)18時から式終了まで町民会館前駐車場が利用できません。
圖町消防署 ☎ 463-0005

■平成27年成人式

日時 1月11日(日) 10時～
場所 町民会館大ホール
対象者 平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの方
※町外に転出などされた方でも式典に出席できます。
圖役場教育課生涯学習係 ☎ 462-9982

■武道稽古始め

日時 1月12日(祝) 9時～
場所 町武道館（町中央体育センター隣）
圖町武道館 ☎ 463-5077

みんなの税かわらばん
■1月の税（料）
▼町・県民税（4期）
▼国民健康保険税（普通徴収7期）
▼後期高齢者医療保険料（普通徴収7期）
納期限 2月2日(月)
圖役場税務課収納管理係
☎ 462・9951
■償却資産の申告時期です
町内に事業用の償却資産をお持ちの方に對し、申告書を送付しました。平成27年1月1日現在の所有状況を記入し、2月2日(月)までに提出してください。
今回初めて申告される方には申

告書を送付しますので、左記までご連絡ください。
また、地方税ポータルシステム（エルタックス）を利用しての手続きも可能です。エルタックスの詳細な説明については、エルタックスホームページをご覧ください。
「エルタックスホームページ」
http://www.eltax.jp/
圖役場税務課資産税係
☎ 462・9953
■所得税還付申告の相談について
2月2日(月)～13日(金)の間、所得税還付申告の相談を役場3階第3会議室で受け付けます（土日祝日を除く）。
相談時間 9時～12時、13時～15時
※相談の対象は、所得税還付申告に限りま。所得税の納付が発生する申告の相談については、確定申告時期（2月16日～3月16日）に、再度お越しいただくこととなります。あらかじめご了承ください。
圖役場税務課住民税係
☎ 462・9952
■インターネットで申告書作成
国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、申告書を簡単に作成できます。
申告書は、自宅のプリンターで印刷し、添付書類と一緒に郵送などにより税務署へ提出してください。
【国税庁ホームページ】
http://www.nta.go.jp
■e-Taxで申告
e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用すると、「確定申告書等作成コーナー」で作成

確定申告書作成のための相談会
魚津税務署職員と税理士による確定申告書作成のための相談会を行います。
実施日 2月5日(木)・6日(金)
相談時間 10時～12時、13時～15時半
（受付時間は9時半～14時半）
場所 役場3階大会議室
※相談開始時間は10時です。ご了承ください。

■とやま鍋自慢大会2015

寒～い季節に、あつあつの鍋料理が勢ぞろいします。特産品販売コーナーや、ご家族で楽しめる催し物も多数ご用意します！開催期間中は役場から無料のシャトルバスを運行しますので、ぜひご利用ください。
日時 1月31日(土)、2月1日(日) 各日10時～14時
場所 グリーンパーク吉峰内
よしみね交流館・グリーンパルよしみね

【鍋の種類】（予定）
きのこ鍋、猪鍋、牛すじ煮込み鍋、煎餅汁、海鮮鍋、ホルモン鍋、甘辛豚鍋、ちゃんこ鍋、豚もつ鍋、おでん鍋、いも煮鍋、みそ汁だんご鍋、いとこ煮、ぜんざい など
【催し物】
新幹線開業記念イベント、和太鼓演奏、大道芸、ピアノロッシコンサート、らいじいワフワフ、そり山雪だるまづくり（参加者には「らいじい」との記念撮影＆「ゆ～らんど」入浴割引券をプレゼント！） など
※天候等により変更する場合があります）
【シャトルバス運行時刻】
役場発 9時40分～12時の間、20分間隔
吉峰発 12時～15時の間、30分間隔
圖グリーンパーク吉峰（棚たてやま） ☎ 483-2828

■町民カレッジ2014 修了記念講演

演題 『地図は災害を知っている
ハザードマップで地域を点検』
日時 2月21日(土)13時半～15時
場所 町民会館2階 第3会議室
講師 大西 宏治 氏（富山大学人文学部准教授）
内容 身近な地域で発生する災害と備えについて
地図を活用する対処方法について
定員 50人（定員になり次第締切） 参加費 無料
※町民カレッジ受講者以外の方も参加できます（要予約）。
圖役場教育課生涯学習係 ☎ 462-9982

した申告書をインターネットで税務署へ送信（申告）することができます。
「e-Tax ホームページ」
http://www.e-tax.nta.go.jp
※e-Taxを利用するには、町が発行する電子証明書付きの住民基本台帳カード（住基カード）が必要です。住基カードの発行には約2週間掛かります。余裕を持って申請してください。

▼申告に関する問い合わせ
圖魚津税務署
☎ 0765・24・1370
圖役場税務課住民税係
☎ 462・9952
▼住基カードに関する問い合わせ
圖役場住民課住民係
☎ 462・9962

保健だより

岡町保健センター
☎463-0618



♡佐伯 まやちゃん（1歳6か月）
元気いっぱい明るく育ってね。
パパ 知彦さん ママ 多鶴さん



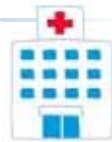
♡森井 駿斗くん（1歳6か月）
明るく元気に育ってね。
パパ 英紀さん ママ 葉子さん

■1月・2月は『はたちの献血キャンペーン』 ～献血にふみだす一歩 はたちの勇気～

献血者が減少しがちな冬期において、安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、広く献血に関する理解と成分献血、400mL 献血の継続的な協力を求めています。ぜひ、この機会にレッツトライ！

■がん検診の精密検査はお済ですか？

がん検診の受診後、精密検査の案内が届いている場合は、必ず医療機関で受診してください。



一年の計は健康づくりから

血糖値改善大作戦 “4回でマスター！”

「症状がないから大丈夫!」、その一口が…。甘くておいし～誘惑についつい負けてしまう…。運動しないといけないのは百も承知、わかっちゃいるけど…。という皆様必見です。

血糖値が高い状態を放っておくと、血管がボロボロになり合併症がでえます。血糖値と上手に付き合う方法を一緒に学んでみませんか？

場所 町保健センター 参加費 無料

対象者 74歳以下の方 定員 20人

※定員になり次第締め切ります。早めにお申し込みください！

開催日時	内容
1月14日(水) 13時15分～15時	▶健康講座 「糖尿病ってどんな病気？」 ▶健診結果をみてみよう
1月22日(水) 9時15分～13時	▶栄養講座・調理実習 「バランスの良い食事って？」
2月17日(火) 9時15分～11時	▶血液検査 ▶運動講座・実技
3月4日(水) 9時15分～11時	▶血液検査の結果をみてみよう ▶「あなたの血管は大丈夫？」

※開始 15分前から受付します。

ひとこと介護予防

岡町地域包括支援センター
☎462-9088

脳の健康教室「元気だ脳」開催集落募集

これからも生きがいを持ち、自分らしい生活を続けていくために脳の健康について考えてみませんか。町では、元気な脳を目指す教室を開催しています。教室参加者からは「意欲がでてきた」「生活が規律正しくなった」「教室にきてみんなと話をするのが楽しい」という声を頂いています。

認知症予防を目的として開発された教材を使用した読み書き計算の学習のほか、レクリエーションや簡単な運動にも取り組みます。来年度も町元気交流ステーションと集落公民館1カ所で開催する予定です。開催希望の集落はご連絡ください。

応募期限 2月27日(金)

開催予定 平成27年8月～平成28年1月(予定)
毎週1回 各回9時半～11時(予定)

自己負担額 月1,000円/人(教材費)

※応募多数の場合は、協議の上決定します。

1月の子育て支援情報

岡健康福祉課児童福祉係
☎462-9955

■1月の「みらいぷ☆きっず」

対象者 町内在住の1歳3カ月までの子どもとその保護者

期日 1月23日(金)(受付:10時～10時20分)

内容 「ヒヤリ・ハット 0さいからの事故予防」
身体測定、発育相談、離乳食相談も行います。

場所 町保健センター(町元気交流ステーション3階)

1月の子育て支援センター	
みどりの森保育園 (☎462-2248)	8日(水)、15日(水)、 22日(水)、29日(水)
あおぞら保育園 (☎463-0061)	6日(火)、14日(火)、 19日(月)、30日(金)
高原保育園 (☎463-1430)	13日(火)、20日(火)、 24日(土)、27日(火)
西部児童館 (☎463-0622)	毎週火、水、木曜日
1月の子育て広場	
むつみこども園 (☎462-1570)	16日(金)
岩峠保育所 (☎483-1451)	14日(水)
釜ヶ淵保育所 (☎463-0598)	9日(金)
日中上野保育所 (☎462-2387)	13日(火)

※詳しくは各施設にお問い合わせいただくか、町HPをご覧ください。

定期予防接種のお知らせ

■定期予防接種の受け忘れはありませんか？

定期予防接種のうち、下記の麻しん風しん混合ワクチンの第2期(年長児)および二種混合ワクチン(小学6年生)について、今年度対象者の方へすでにご案内しておりますが、受け忘れはありませんか。接種期限を過ぎると、公費での接種ができません。再度、母子健康手帳をご確認のうえ、未接種の方は早めに受けましょう。

予防接種	望ましい接種年齢	接種期限
麻しん風しん混合(MR)	1期 生後12～24か月に至るまで	2歳の誕生日の前日
	2期 年長児(H20.4.2～H21.4.1生)	平成27年3月31日
二種混合(ジフテリア・破傷風)	小学6年生(H14.4.2～H15.4.1生)	13歳の誕生日の2日前

■三種混合ワクチンの接種が未完了の方は、早めの接種を！

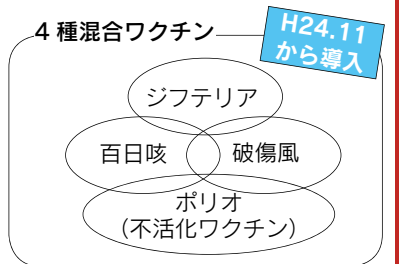
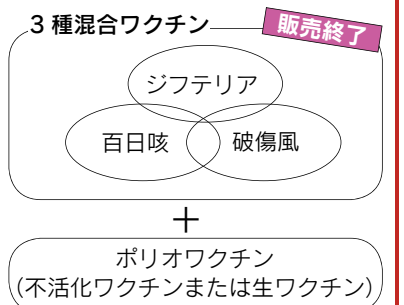
(四種混合ワクチンを接種の方は、三種混合ワクチンの接種は必要ありません)

三種混合ワクチンは、ジフテリア・百日咳・破傷風を予防する混合ワクチンですが、国より三種混合ワクチンの販売終了の通知がありました。

三種混合ワクチンの接種(合計4回)が未完了の場合の不足回数分は、平成24年11月から導入された四種混合ワクチンで対応が可能です。不活化ポリオワクチンの接種を単独で4回接種している方は、この対応ができませんので、三種混合ワクチンの接種を予定されている方は、早めに接種医療機関に予約のうえ接種をお願いします。

三種混合ワクチンの不足分を四種混合ワクチンへ切り換えて接種希望の方は、四種混合予防接種予診票が必要です。事前に、町保健センターへ母子健康手帳および身分証明証(窓口に来られる方のもの)を持参のうえ、お越しください。詳しくは、町保健センターへお問い合わせください。

※三種混合ワクチンは、合計4回(初回3回と追加1回)の接種が必要であり、7歳半に達するまで公費で接種することができます(四種混合ワクチンも同様です)。ただし、決められた接種間隔をお守りください。



■1月1日から2月10日までに町が行う健康診査などで、個人通知書に代わるものです。

健診・検診のご案内

岡町保健センター
☎463-0618



母子保健

対象地区:全地区 ところ:町保健センター 持参するもの:母子健康手帳、フッ素塗布希望の方は歯ブラシ

項目区分	実施月日	受付時間	対象者	備考
1歳6か月児健診	1月 8日(木)	13:00～13:30	平成25年7月生まれ	小児科・歯科診察、フッ素塗布(希望者)、栄養相談、個別相談、子育て相談(臨床心理士)
3歳児健診	1月 15日(木)	13:00～13:30	平成23年9月生まれ	小児科・歯科・耳鼻咽喉科診察、尿検査、栄養相談、個別相談、必要に応じて視力検査、子育て相談(臨床心理士)
むし歯予防教室	1月 21日(水)	2回目の方 / 13:00～13:20 3・4回目の方 / 13:30～14:00	フッ素塗布 2回～4回目の方	①歯科診察②フッ素塗布(歯ブラシ・タオル要持参)
4か月児健診	1月 27日(火)	13:00～13:30	平成26年9月生まれ	小児科診察、離乳食について、個別相談
すくすく健診	2月 4日(水)	13:00～13:30	平成26年5・6月生まれ 母乳相談のある方は要予約	小児科診察、栄養相談、個別相談、母乳相談(助産師)



成人保健

※検診結果の一部は、受診者だけでなく町にも返送されます。これは健康管理業務に使用するためであり、ほかの目的で使用することはありません。

項目区分	実施月日	受付時間	ところ	備考
大腸がん検診	1月13日(火) 2月10日(火)	8:30～9:30	町保健センター (町元気交流ステーション3階)	○大腸がん検診は無料です。 ○検診結果は、約1カ月後に通知されます。 ○大腸がん検診には容器が必要です。検診日の5日前までに保健センターでお受け取りください。

※がん検診の個人通知は74歳以下の方に行っていますが、通知のない方でも受診できます。希望される方は、町保健センターへお申し込みください。

●消費生活相談

期日 毎週月、水、金曜日
時間 8時半～17時
場所 消費生活相談所
(役場1階住民課横)

図消費生活相談所 ☎ 462-9915

●町ふれあい総合相談センター相談日程

※場所は町元気交流ステーション3階です。

■在宅介護相談

期日 毎週月～金曜日(休館日除く)
時間 10時～16時

相談員 介護支援専門員、ホームヘルパー

■心配ごと相談

期日 毎週木曜日(休館日除く)
時間 13時半～15時半

相談員 民生児童委員

■無料法律相談【予約制】

期日 1月15日(木)、2月5日(木)
時間 13時半～15時半

相談員 弁護士

■行政相談

期日 1月8日(木)
時間 13時～15時

相談員 行政相談委員

■人権相談

期日 2月18日(水)
時間 13時～16時

相談員 人権擁護委員

■生活就労相談

期日 1月7日(水)、21日(水)
時間 13時半～15時

各種相談日程の問い合わせ先

町社会福祉協議会 ☎ 463-5856

●税務課、住民課延長窓口

毎週月曜日(閉庁日除く)は税務課と住民課窓口を18時半まで延長しています。

1月開設日 5日、19日、26日

▶税務課 町税などの収納、町税に関する税証明の交付

▶住民課 戸籍謄抄本・住民票・印鑑証明の交付、印鑑登録、医療費助成申請など医療費に関すること

図役場税務課収納管理係 ☎ 462-9951

図役場住民課住民係 ☎ 462-9962

図役場住民課医療保険係 ☎ 462-9956

町臨時職員登録者を募集

業務内容 ①電話交換業務、②事務補助(育児休業等代替)
募集人数 ①1人、②若干名
雇用期間 ①平成27年3月～、②平成27年4月以降随時
勤務時間 平日/8時半～17時15分
応募方法 役場総務課で交付する履歴登録カードを役場総務課秘書人事係へ提出してください。
申込期限 ①1月23日(金)、②年間を通して登録は受け付けます。
選考方法 書類審査および面接
図役場総務課秘書人事係 ☎ 462・9964

町営おでかけフットン
運転手を募集

業務内容 町内を定時運行する「おでかけワゴン」の運転業務
募集人数 1人
応募資格 大型または中型2種免許を有する方
雇用期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日(継続可)
勤務日 週3～4日程度(土・日・祝日および年末年始等を除く)
勤務時間 9時～18時までの間の6時間または8時間勤務

応募方法 履歴登録カード(役場総務課窓口、または町HPよりダウンロード)を役場住民課へ提出
申込期限 1月30日(金)
図役場住民課環境地域安全係 ☎ 462・9963

町元気交流ステーション
出店者募集

町元気交流ステーション1階「軽食・喫茶コーナー」にて、町のにぎわい創出に意欲があり、飲食サービスの提供できる事業者を募集します。
応募方法 出店者募集要項に従い必要書類を作成、提出してください。
要項配布場所 役場総務課、町HP受付期限
1月13日(火)～30日(金)17時必着
その他 書類審査および面接の上、2月末ごろに出店者を決定します。
問い合わせ・申し込み先 役場総務課管財係 ☎ 462・9967

町営住宅入居者募集

募集期間 1月5日(月)～15日(木)
募集住宅 釜ヶ淵町営住宅(2LDK・3LDK) 4室

火災(災害)のお問い合わせ
専用ダイヤル開通

町内で火災や災害が発生した場合は、左記の番号までかけてください。自動音声案内で応答します。
【火災(災害)専用ダイヤル】 ☎ 076・462・2119
※なお、従来の消防署代表電話への通報はしないでください。
図町消防署 ☎ 463・0005

中小企業退職金共済制度

国や町がサポートする中小企業の従業員のための退職金制度です。パートタイマーの方も加入できます。掛け金は全額非課税で一部を国や町が助成・補助します。詳しくはHPをご覧ください
http://chutai-kyo.taisyokuin.go.jp
図中退共本部 ☎ 03・6907・1234
図役場商工観光課 ☎ 462・9970

「経営者保証に関するガイドライン」セミナー

昨年度二月より適用開始となった「経営者保証ガイドライン」は、経営保証無で金融機関から融資を受けた、事業が破綻しても一定の生活費を残すことができるルールです。中小企業・小規模事業者、支援機関や土業の方々を対象に、経営者保証に依存しない融資や保証債務整理時の対応の説明と個別相談会を行います。
日時 1月30日(金)13時～15時半
場所 富山市職業訓練センター
申込方法 専用HPから申し込み
http://keishihasho.smrj.go.jp

※応募者多数の場合は抽選です。
※入居要件や家賃については建設課窓口、または町HPでご確認ください。
図役場建設課建築住宅係 ☎ 462・9975

2015年農林業センサス
のご協力をお願いします

2015年農林業センサスが2月1日を基準日として実施されます。「農林業の国勢調査」と言われる大規模な調査で、5年ごとに全国一斉に行われます。今後の農林業施策の基本になる重要な調査です。ご協力をお願いします。
調査対象 全国すべての農林業を営んでいる方
回答方法 調査票への記入
※1月下旬に調査員が調査票を持って伺います。
図役場企画政策課企画広報係 ☎ 462・9968

アナログテレビで地上デジタル放送をご覧の方は要注意!
「デジアナ変換サービス」が、平成27年3月に終了します。これは、デジタル電波をアナログに変換し、アナログテレビでも地上デ

ジタル放送を暫定的に視聴可能とするサービスです。
現在、アナログテレビで地上デジタル放送をご覧の方で、テレビ画面右上に「デジアナ変換」と表示されている方は、サービス終了までに地上デジタル放送の受信準備をお願いします。
受信方法
▼デジタルテレビに買い替える
▼デジタルチューナーを購入する
▼ケーブルテレビに加入する
※詳細は左記までお問い合わせください。
図総務省 地デジコールセンター ☎ 0570・070101

「家族介護者の集い」参加者募集

日時 2月25日(水)9時半～15時半
行先 ゆーとりあ越中
内容 情報交換、介護相談、会食
対象者 町在住で高齢者を家庭で介護している方
参加費 1,000円
応募期限 2月18日(水)
問い合わせ・申し込み先 町社会福祉協議会 ☎ 463・3356

いっしょに暮らし
のこの相談会

悩みや困りごとを抱えている方を対象に、専門の相談員による総合相談会を開催します。一人で悩まずに相談してみませんか。事前予約不要、相談無料、秘密厳守。
場所 ①新川文化ホール(魚津市) ②小杉社会福祉会館(射水市)
相談日 ①2月21日(土)、②2月22日(日)

立山町国民健康保険の
加入者の皆様へ

■医療費の自己負担限度額が変わりました
高額療養費制度の制度改正により、平成27年1月1日から70歳未満の方の自己負担限度額(月額)が次のとおりになりました。
※期限が「12月31日」までの限度額適用認定証または限度額適用・

標準負担額減額認定証をお持ちの方で引き続き証が必要になる方は、医療保険係の窓口(役場1階⑧番窓口)で更新手続きをしてください。手続きの際は、国民健康保険証および印鑑(同一世帯員以外の方が手続きされる場合は他にその方の身分証明書および印鑑)をご持参ください。
図役場住民課医療保険係 ☎ 462・9956

■改正前【平成26年12月31日までの自己負担限度額】				
所得区分		所得要件	1回～3回目までの限度額	4回目以降の限度額(※2)
課税世帯	A 上位所得者	旧ただし書所得(※1) 600万円超	150,000円+ (医療費の総額－500,000円)×1%	83,400円
	B 一般	旧ただし書所得(※1) 600万円以下	80,100円+ (医療費の総額－267,000円)×1%	44,400円
C 住民税非課税世帯		住民税非課税	35,400円	24,600円

■改正後【平成27年1月1日以降の自己負担限度額】				
所得区分		所得要件	1回～3回目までの限度額	4回目以降の限度額(※2)
課税世帯	ア	旧ただし書所得(※1) 901万円超	252,600円+ (医療費の総額－842,000円)×1%	140,100円
	イ	旧ただし書所得(※1) 600万円～901万円以下	167,400円+ (医療費の総額－558,000円)×1%	93,000円
	ウ	旧ただし書所得(※1) 210万円～600万円以下	80,100円+ (医療費の総額－267,000円)×1%	44,400円
	エ	旧ただし書所得(※1) 210万円以下	57,600円	44,400円
オ 住民税非課税世帯		住民税非課税	35,400円	24,600円

※1 同一世帯のすべての国保被保険者の基礎控除後の所得の合計額
※2 過去12カ月間(1年間)に同一世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合

全国各地の特産品が勢ぞろいのアンテナショップ

休んでかれや に行ってみよう!

今年もイルミネーションでライトアップ!

12月11日、町商工交流館「休んでかれや」でイルミネーションの点灯式が行われ、約2万球のLEDが商店街を色鮮やかに照らしました。今年は電球の数を5千球増やし、

周辺の電柱6本にもイルミネーションが輝いています。点灯は2月14日まで。正月やバレンタインにはそれぞれの時季に合わせたマークが現れます。



新春初売り! お年玉企画も!

1月2日から4日までは新春大売り出し! 様々な企画が目白押し!

■お年玉企画その1

期間中は全商品が10%OFF! 全国の特産品がお得に買えちゃう! ※一部除外商品があります

■お年玉企画その2

期間中お買い上げの方にはお年玉プレゼント! 各日、先着100名様

■お年玉企画その3

期間中、1,500円以上(税抜)お買い上げの方、先着100名様にWプレゼント!



年末年始の営業時間

- 12/29 ~ 1/1 は休館
 - 1/2 ~ 1/4 は 9時~16時営業
 - 1/5 より通常営業 (9時~17時)
- 図休んでかれや
☎464-1770



立山町ならではの魅力や特色を持った「立山ブランド」。その認定品をシリーズで紹介! 紹介します!

米と大豆の育成から手掛ける「立山の農家の手づくりみそ」

みそづくりの名人は材料を四季の気候にあわせて発酵させ、コクとうまみを上手に引き出す技を培ってきました。今もいこいの杜には、町で育てたお米(コシヒカリ)、大豆(エンレイ)、塩(国産)のみを用いた伝統の味が引き継がれています。これからまだまだ寒い日が続きま

す。昔ながらの味のお味噌汁で、「ほろろ」と暖まる食卓をどうぞ。

販売場所 ①いこいの杜(坂井沢134-2)、②JA立山農産物直売所、③グリーンパーク吉峰

農事組合法人いこいの杜 ☎461-4321 (電話注文可)



価格は、プラスチックケース(750g)、袋入り(1kg)、ともに各450円(税込)。



町の動き

12月1日現在の人口

人口	26,991 人	(- 241)
男性	12,921 人	(- 127)
女性	14,070 人	(- 114)
世帯数	9,266 世帯	(+ 90)

() 内は前年同月増減

11月の人の動き

出生	13 人	転入	57 人
死亡	27 人	転出	37 人

1~11月の町犯罪発生状況

件数	80 件	(前年比- 7 件)
----	------	------------

善意銀行 11月受付分

- 新山信子 様 5万円
- 舟橋晶 様 10万円
- 元智均 様 5万円

ふるさと納税

- (株)エス・ジー・ティ様 2万円
- (有)ティエフシー様 1万円
- (ともに代表 松瀬繁様 愛知県)
- 辻岡勉様 (和歌山県) 1万円
- 佐藤朋江様 (長野県) 1万円
- 松井友可里様 (東京都) 1万円
- 河野修兵様 (東京都) 1万円
- 宇野真博様 (埼玉県) 1万円
- 酒井章次様 (東京都) 1万円
- 鈴木伊都子様 (静岡県) 1万円
- 国本英明様 (大阪府) 1万円
- 匿名様 52件 54万円

ソノ、タテ

あけましておめでとございます。昨年中はたくさんの方々に取材のご協力をいただきました。さて、この編集後記を書いている年の瀬、ふと思いました。「今年は何枚くらい写真を撮ったんだろう?」。調べてみたら:約1万4千枚! 消去した分も含めると2万枚弱でしょう。今年、この「未」。一説では、干支は植物の成長過程を示しており、未年は「未熟」を表す年だから、今年も写真を撮りまくるなら、次の干支「申」が表す「成熟」を目指したいと思います。本年もどうか「広報たてやま」をよろしくお願いします。(ワタル)